

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

すべてのステークホルダーの皆様に高い満足を提供する

売上高営業利益率
5.0%1株当たり当期純利益
5.00円ROIC
10.0%

② 中長期の経営戦略

1. 通信販売事業の黒字化

既存番組制作・放送枠仕入販売の継続、顧客ニーズへの丁寧な対応、アウトバウンドやDM発送などの派生ビジネス構築による売上規模拡大

2. デジタルマーケティング事業拡大

日本デジタルギフト事業売却で得た資金で既存事業拡大と新規事業開発。韓国では利益率重視で営業活動継続し、収益性の高い案件へシフト

3. M&Aとファンド運営

新規事業の発掘・運営により企業規模を拡大。マーケティング事業のイベント受注や新規投資案件発掘を進める

③ 対処すべき課題

① 営業部門における収益体制拡大

- 取引先の拡大と販売チャネルの拡大による早期黒字化
- ファンド運営やM&Aを通じた新規事業投資

② 人材の増員及び職場環境充実

- 必要なスキルを保有した人材の採用と教育
- 柔軟な働き方と人材の多様化推進による離職防止

③ 継続企業の前提に関する重要事象

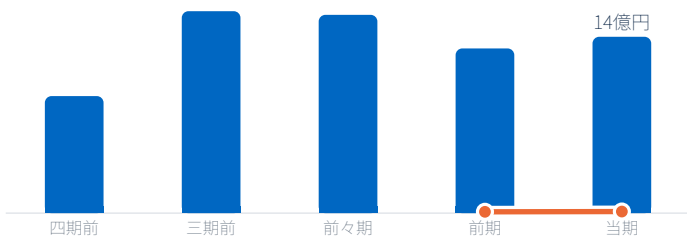
- 営業損失108,563千円計上。既存事業の営業強化と新規事業による収益確保が急務
- 通信販売事業は黒字化達成。顧客獲得と信頼構築で黒字幅拡大を目指す

面接で使えるポイント

- 経営理念『すべてのステークホルダーに高い満足提供』の実現に向け、売上高営業利益率5.0%を目標に収益基盤を強化中
- 通信販売事業で黒字化達成、デジタルマーケティング事業を拡大するほか、M&Aやファンド運営で新規事業開発推進
- 2023年3月期からの営業損失課題に対し、既存事業注力と新規事業開発で継続企業の前提を確保する方針

証券コード 3779

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
14億円

営業利益率
0.9%

財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 41.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
791万円

情報・通信業内 109位/592社

平均年齢
39.3歳

情報・通信業内 224位/593社

平均勤続
5.4年

情報・通信業内 353位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ジェイ・エスコムホールディングス[3779]: (開示事項の経

